

私の留学体験記

広島県立西条農業高等学校 2年 二張 裕介 (にはり ゆうすけ)

留学期間 平成29年10月19日～平成29年11月1日 (2週間)

留学先 シカゴ農業高校, イリノイ州立大学 (アメリカ合衆国 (シカゴ市, ノーマル市))

私は10月19日から11月1日の2週間、アメリカ合衆国のシカゴ農業高校とイリノイ州立大学で研修を行いました。初めての海外研修で、とても不安で緊張しましたが、アメリカで生活をしていくうちに不安も少しずつ消えていきました。研修を終えた今では、今回の研修に参加して本当に良かったと思えるほど充実した研修にすることが出来ました。

19日から24日の最初の1週間はシカゴ農業高校で研修を行い、生徒の家庭にホームステイをしました。ホストファミリーの家族が迎えてくれ、歓迎してもらいました。次の日からはホストファミリーと一緒に登校をしました。私がアメリカの学校生活で一番驚いたことは、日本では自分が所属するクラスがあり、クラスの人全員で同じ授業を受けますが、アメリカでは所属するクラスは無く、大学のように自分に必要な科目をそれぞれ勉強するということです。日本の学校のシステムと全く違い、とても驚きました。授業体験では、国語や数学、バイオテクノロジーなどの専門的な授業を受けました。すべて英語での授業だったので理解するのは難しかったのですが、アメリカの学校の雰囲気を味わえたので良かったです。



休日にはホストファミリーがシカゴの中心部のダウントウンに連れて行ってくれました。シカゴにはたくさん的高層ビルが立ち並び、街の大きさに圧倒されました。夕飯にはシカゴ名物のシカゴピザを食べました。生地がとても厚く食べごたえがすごくあり、とても美味しかったです。シカゴ農業高校での研修は同じ高校生ということもあり、コミュニケーションも取りやすく苦手な英語も積極的に使うことが出来ました。

25日から30日の2週間目からはイリノイ州立大学で研修を行いました。イリノイ州立大学は農学部力を入れているようで、大学内の農場や施設がとても大きくいろいろな研究が行われていました。イリノイ州には山がほとんど無く平野に畑がずっと続いており日本では絶対に見られない光景にとっても驚きました。畑の広さだけでなく、トラクターの大きさも日本とは全く違い、



アメリカと日本の農業の違いを実感することが出来ました。別の日には近所の大型スーパーに行き、倉庫の中の見学や商品の説明などをさせていただきました。売られている商品も日本とは違い、どれも大きいサイズで、さすがアメリカだと思いました。アメリカの食文化や流通の仕組みなどを学ぶことができました。イリノイ州立大学の研修では、本場アメリカの大規模農業についてやスーパーでの流通など今のアメリカの産業を詳しく知る

ことが出来ました。

今回のアメリカ海外研修を通して、私は積極的にコミュニケーションを取る大切さやアメリカの農業や文化の大きさを知ることができました。また今回このような経験をする機会をくださった両親や学校の先生方に感謝をし、この2週間の研修で学んだことが無駄にならないように今後の学校生活や進路実現に活かしていきたいです。